

平成30年度版 索道安全報告書 (速報版)

株式会社 上越観光開発
上越国際スキー場
十日町市営 松代ファミリースキー場

平成31年2月 発行

当社のスキー事業に対しましては、日頃よりご愛顧ならびにご理解をいただきまして、心より感謝を申し上げます。

本報告書は鉄道事業法に則り、索道事業の安全確保の取組について、ご利用いただいております皆様にご理解いただくために公表しております。

本来では2018年度(平成30年度版)を本年5月に公表する予定でありましたが、今シーズンの営業中に、索道係員の運転取扱不備による不手際がございましたので、速報版として報告させていただきます。

1. 発生日時 平成31年2月10日 14時頃 天候；雪
2. 索道施設 種別・方式 単線固定循環式特殊索道
傾斜こう長 453.13m
搬器最大乗車人員 2人
運転速度 1.6m/s
搬器出発間隔 7.1秒
運転開始日 昭和62年1月5日
4. 原因 索道係員の不注意
5. 発生概要 山麓乗降場の乗客係りは下り線乗客の対応を行っている中、上り線利用の乗客に気付かず、搬器座板を上げていた。
乗客は親子3名で、最初に乗場へ入った子供は座板が上がったままの状態に乗車し、次の搬器に乗車しようとした父親は座板に気付き自力で座板を下げようとしたが、そのまま搬器に押され乗場から転落した。
異常に気付いた母親が声を掛けて運転係りがリフトを停止した。
この間、乗客係り、運転係り共に事態に気付かなかった。
リフト停止後、そのまま乗車した子供を救助し、転落した父親共にケガは無かった。
6. 再発防止策 上下線利用の乗降場には係員2名の配置であったが、人員の配置を見直し増員して監視を強化すること、降雪時も座板の操作は行わないように作業手順を見直し、係員に周知、徹底した。
また、今回の事例を社内全体で共有し、他のリフトでも見直しが必要な部分の検討を行っている。